

琵琶湖と玄海漁港

半世紀の昔を懐か

九大ヨット部とBYCを思う

顧れば「早や50年の昔となつた琵琶湖

の水域で日本では初めて社会人の
ピッコヨットクラブ(BYC)が創設した。

それと相前後して玄海の水域では

日本で初めての学生ヨットクラブが完足

したことは全く奇しき因縁のある

ように思われる。

西と東に遠く離れた二俱楽部

が昭和8年BYCが英国(RYA)より

国際統一型12呎艇の設計図モット

を複製せし10艇を大津市桑野造船所
で建造し、昭和8年4月これを完成して

進水式を盛大に挙行した

このA級12呎艇10艇の内2艇を

九州帝國大学ヨット部への寄贈により

譲渡のこととなつた。

BYCと九大とは遠く隔れているが、水は琵琶湖から玄海灘に つづいてゐる。

昭和8年のことであるが、BYCのメンバー吉本善多君が単身でA級ダイキ一を

探つて琵琶湖を出発して琵琶湖の疏

水路を至り淀川に出で大阪湾に

向ひ更に瀬戸内海を西と西へと

東穂牛窓まで帆走したことがあつた。

九州の諸君と その時リレーすれば

玄海灘までクルーズが出来るのを

知れない。

(2) 船

前述の九大ヨゴ部へのA級ダイキ一

も恐らくこのコースを船便であつた

らうと思われが通つて行つたことと

思う。

九大ヨット部とBYCとのつながりは
今にして思えば大層なつかしい思い出
である。

しかも ~~両~~ 両ヨットクラブはBYCが京一高
ボート部のB有志によつて50有年前
に創立したと今様九大ヨット部
ボート部のメンバーが創きさせられた
相共通している。

尚、50年余の今日共に健実にヨット
活動を活発にやり ~~進~~ 進めることは

全く御同慶の至りである。 ~~しかも~~
この両ヨットクラブが今日 ~~至~~ 至りに ^い 楽しい

交歓をかわすことの出来ることは
何より喜ばしいと思う次第である。

BYCではA級ディングーと今一ッ
BYCのシンボルとも言うべきEZ船
~~がある~~を保有している。

昭和11年6月(1936)ベルリンオリンピック

のヨットレースに出場したBYCの吉本善吉君
が帰途欧州各地を視察~~し~~に10月帰国した

その土産に各地の写真とドイツで「~~アイン~~ハイツェナ
EINHEITS ZEHNER(EZ)の設計図を購入し
て持ち帰った。

この設計図によりBYCでは早速乗船造艇研
でEZを建造した。そのEZ船は今も

健在で大事に保管毎年5月5日の
この日の日に開催するBIMARU KIND REGATTA

にはEZのマーク ~~鮮~~ ^{フルバテン 特長がある}かに ~~旗~~ ~~の~~ ~~セイル~~
をはりませて琵琶湖上には ~~浮~~ ^{成宿は} ~~ぶ~~ ~~き~~ ~~の~~
船令をも忘れさず健在な姿で

誇らしげに帆走するのである。
ヨットと共に53年を過して来を自分とし
は大奮なつかしい艇であり我が若人
のようである。

茲にBYCが日本の水域で初めての浮氷を
 懐しの思出のこの二冊程度の写真を掲
 載し博覧覧に供^しする~~こと~~である
 終りに望み今後一層両クラブの親密
 な交款を~~希~~懇願すると共に更に九大三外部
 の益々隆盛になられんことを祈念^{する}
 次第である。

茲に目出度^く創立五十周年を~~記念~~^{記念を}
 九大三外部 心から
 御祝詞
 申上げます^{次第}
 であり